

<b>【科目名】</b> 作業療法評価学演習		<b>【担当教員】</b> 田中 善信
<b>【授業区分】</b> 専門分野（作業療法評価学）	<b>【授業コード】</b> 4-22-0865-0-1	(メールアドレス) y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com
<b>【開講時期】</b> 3 年次 前期	<b>【選択必修】</b> 必修	(オフィスアワー)
<b>【単位数】</b> 1 単位	<b>【コマ数】</b> 30 コマ	<b>【水曜日】</b> 13 : 00 ~ 18 : 00 <b>【月曜日】</b> 9 : 00 ~ 12 : 00
<b>【注意事項】</b>		
(受講者に関わる情報・履修条件)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 年次までに履修した専門科目の知識があることを前提とする。</li> <li>・ 作業療法評価のプロセスを復習しておくこと。</li> </ul>		
(受講のルールに関わる情報・予備知識)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ課題が中心となり、講義外活動も考慮しながら実施していただきたい。</li> <li>・ 講義で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーしてもらうこと。</li> <li>・ 講義中の板書、スライドの携帯電話での撮影は禁止する。</li> </ul>		
<b>【講義概要】</b>		
(目的)		
身体障害・精神障害・発達障害・高次脳機能障害の代表的な検査の中から適切な評価実施方法と記録法について学ぶ。		
(方法)		
各評価の手順と記録方法について、学生同士で演習することが中心となる。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各分野の作業療法評価の技術を修得する。</li> <li>・ 各検査、評価の記録方法を習得する。</li> </ul>		
<b>【行動目標(SBO)】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業療法評価の各項目を実施することができる。</li> <li>・ 作業療法評価を実施及び記録し、特記すべき結果について述べることができる。</li> </ul>		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b>		
① 吉川ひろみ 「作業療法がわかる COPM・AMPS スターティングガイド」医学書院 2008 年		
② 日本作業療法士協会 「事例で学ぶ生活行為向上マネジメント」医歯薬出版 2015 年		
<b>【参考書】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斎藤祐樹『作業で語る事例報告—作業療法レジメの書きかた・考えかた—』 医学書院, 2014 年</li> <li>・ 障害者福祉研究会「ICF 国際生活機能分類-国際障害機能分類改訂版」中央法規 2002 年</li> </ul>		
<b>【評価に関わる情報】</b>		

平成 26～28 年度入学者用

(評価の基準・方法)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。</li> <li>試験、小テスト、レポート、実技から総合的に判断をする。</li> </ul>									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50	10	30		10			100点
評価指標	取り込む力・知識	20	10			5			35
	思考・推論・創造の力	30		15					45
	コラボレーションとリーダーシップ								0
	発表力								0
	学修に取り組む姿勢			15		5			20
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>コースオリエンテーション</li> <li>作業療法評価を計画する (妥当性と根拠を考える)</li> <li>AMPS の概要と項目・評価方法</li> </ul>	講義・小テスト			教科書① (p48-91) を予習すること。 《小テスト (予習)》 AMPS に関する内容について出題する。	90			
2									
3	AMPS による観察演習①・② (VTR を使用した演習)	演習			AMPS の方法と項目を理解していることが前提となるため、教科書①の該当範囲を復習しておくこと。	90			
4									
5	AMPS による観察演習③・④ (実際の AMPS 課題を観察)	演習			事前に課題となる AMPS 課題を配布する。それを読み、理解しておくこと。	90			
6									
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接評価 (作業面接) の概要と評価方法 (COPM・生活行為聞き取りシート)</li> <li>作業面接演習準備 (作業療法の説明、面接手順、環境等について整理する)</li> </ul>	講義・演習 小テスト			教科書① (p2-46)、教科書② (p18-20) を予習すること。 《小テスト (予習)》 COPM・生活行為聞き取りシートに関する内容について出題する。	90			
8	作業面接演習① (同年代の作業を聞き取る)	演習			グループ内で実施する。 ①OTR 役、②クライアント役、③観察者役にそれぞれ分かれ、ワーク課題を実施する。(詳細は後日提示する)	90			
9	作業面接演習② (別年代の作業を聞き取る)	演習			学内もしくは学外の方を対象に実施する。	90			
10	作業面接演習③ (まとめ)	演習			②で聴取した情報に対して、作業ストーリーなど面	90			

平成 26～28 年度入学者用

			接内容をまとめる。	
11	作業面接演習④・⑤	演習・	《実技試験》 内容：挨拶、説明、傾聴の姿勢など面接の流れを確認する。 時間：1人4分	180
12	(面接実技試験)	小テスト		
13	生活行為向上マネジメント (MTDLP) の概要	講義・ 小テスト	教科書② (p1-43) を予習すること。 《小テスト (予習)》 MTDLP に関する内容について出題する。	90
14	・事例報告 (目標設定のポイント、レジュメ等のまとめ方) の書き方 ・クライアントの作業をマネジメントする① (医療：脳血管障害患者の事例)	講義・ 演習	事前に資料を提示する。その内容を理解して講義に臨むこと。	90
15	グループ演習 (生活行為アセスメント演習シート作成)	演習	・提出物：①レジュメ (A4用紙1枚) ②アセスメント演習シート	90
16	グループ演習 (生活行為向上プラン演習シート作成)	演習	③プラン演習シート ・提出日：後日提示	90
17	プレゼンテーション (3グループ)	演習	《プレゼン》 ・発表形式：スライド ・提出物：①発表スライド (専用 PC 用意) ・発表時間：25 分 (質疑応答 5 分) ※ 時間厳守 ・提出日：後日提示	90
18	クライアントの作業をマネジメントする② (精神：認知症患者の事例)	演習		90
19	グループ演習 (生活行為アセスメント演習シート作成)	演習	・提出物：①レジュメ (A4用紙1枚) ②アセスメント演習シート	90
20	グループ演習 (生活行為向上プラン演習シート作成)	演習	③プラン演習シート ・提出日：後日提示	90
21	プレゼンテーション (3グループ)	発表	《プレゼン》 ・発表形式：スライド ・提出物：①発表スライド (専用 PC 用意) ・発表時間：25 分 (質疑応答 5 分) ※ 時間厳守 ・提出日：後日提示	90
22	クライアントの作業をマネジメントする③ (地域：高齢者の事例)	演習		90
23	グループ演習 (生活行為アセスメント演習シート作成)	演習	・提出物：①レジュメ (A4用紙1枚) ②アセスメント演習シート	90
24	グループ演習	演習	③プラン演習シート	90

平成 26～28 年度入学者用

	(生活行為向上プラン演習シート作成)		・提出日：後日提示	
25	プレゼンテーション (3 グループ)	発表	《プレゼン》 ・発表形式：スライド ・提出物：①発表スライド (専用 PC 用意) ・発表時間：25 分 (質疑応答 5 分) ※ 時間厳守 ・提出日：後日提示	90
26	作業療法評価プロセス演習～ロールプレイングを用いて～① ・演習オリエンテーション ・作業療法評価計画書作成	演習	・第 1 回目の資料を復習し、作業療法評価のプロセスについて理解しておくこと。 ・事例の基本情報のみを提示し、作業療法を実施する上で必要な評価を挙げる。	90
27	作業療法評価プロセス演習～ロールプレイングを用いて～②・③ ・作業療法評価計画書 (続き) ・口頭試問 (計画の妥当性と根拠の提示➡評価の実演➡データ提示) ・評価結果のまとめと解釈 (アセスメントシート・プラン表まで作成)	演習	必要な様式は後日提示する。	90
29	プレゼンテーション(全グループ)	発表	《プレゼン》 ・発表形式：スライド ・提出物：①発表スライド (専用 PC 用意) ②アセスメント演習シート ③プラン演習シート ④レジュメ (A3 用紙 1 枚) ・提出期限：後日提示 ・発表時間：20 分 (質疑応答 5 分) ※ 時間厳守	180
30				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。